

令和7年9月11日
市議会第3回定例会
財務部財産運用課

令和6年度

指定管理者評価調書

指定管理者提出事業報告書

〈一部抜粋〉

— 福祉部門 —

No	施設名	指定管理者名	担当部	担当課	ページ
1	江刺総合コミュニティセンター	社会福祉法人奥州市社会福祉協議会	福祉部	福祉課	1
2	水沢高齢者創作館	奥州市老人クラブ連合会	福祉部	長寿社会課	9
3	江刺高齢者生産活動センター	社会福祉法人奥州市社会福祉協議会	福祉部	江刺 健康福祉グループ	17
4	まえさわ介護センター	社会福祉法人つつじ会	福祉部	前沢 市民福祉グループ	26

令和6年度指定管理者評価調書

施設所管課	福祉部福祉課	評価者職氏名	課長 千田 健悦	評価日	令和7年7月1日
-------	--------	--------	----------	-----	----------

施設名称	江刺総合コミュニティセンター	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	社会福祉法人 奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	文化活動、社会福祉の研修等を行うことにより、障がい者、高齢者等全ての市民の相互理解と交流の活性化を図り、もってノーマライゼーションの理念の普及高揚に資する。	指定管理料の有無	有
施設概要	ホールや会議室の使用等による生涯学習の場となるコミュニティエリアと障がい福祉サービス事業所があるリハビリエリアからなる施設である。	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	R3利用実績(人)	R4利用実績(人)	R5利用実績(人)	R6利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺総合コミュニティセンター	13,368	14,572	15,339	10,580	69.0	
(計)	13,368	14,572	15,339	10,580	69.0		
[利用者の増減理由] 「こどものくに」(子育て広場)を本センターで実施しなくなったことが利用者減の主な理由である。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	R6年度指定管理者収支				市の歳入・歳出					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R6年度決算額		直近2年平均(R4~5)			
収入	指定管理料	31,999,000		31,999,000	歳入	使用料	6,708,000	使用料	6,246,000	
	利用料金	780,820		780,820		賃貸料		賃貸料	0	
	自主事業			0		その他		その他	0	
	雑収入	81,961		81,961						
	計	32,861,781	0	32,861,781		計(A)	6,708,000	計(A)	6,246,000	
	支出	人件費	7,129,751		7,129,751	※経常的 歳出	指定管理料	31,999,000	指定管理料	31,893,000
		需用費	15,682,141		15,682,141		委託料		委託料	0
		役務費	80,991		80,991		需用費		需用費	0
		委託料	7,405,453		7,405,453		その他		その他	0
		使用料・賃借料	0		0		計(B)	31,999,000	計(B)	31,893,000
租税公課		969,200		969,200	支出(B-A)	25,291,000	支出(B-A)	25,647,000		
その他諸費		21,765		21,765	※臨時的 歳出	維持修繕費	942,480	維持修繕費	33,945,977	
						備品購入費		備品購入費	0	
計		31,289,301	0	31,289,301		計(C)	942,480	計(C)	33,945,977	
損益	1,572,480	0	1,572,480	全体支出(B+C-A)	26,233,480	全体支出(B+C-A)	59,592,977			
職員配置	常勤職員	2人		直近2年の平均常勤職員	1人					
	非常勤職員	0人		直近2年の平均非常勤職員	0人					
利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	2,715,260	1,934,440	780,820							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		22.8%	R6年度指定管理者損益	1,572,480円		評価 3			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		3,024.5円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし					
指定管理とした効果	[指定管理による行革効果]			[支出での効果額]			356,000円	評価 4		
	原油価格や電気代の高騰等社会情勢の変動の影響が年々大きく、対前年度比較を表面的な数字をもって判断することは難しいが、節電等の工夫により、光熱費の削減につなげる効果を得たのは指定管理者の経営努力として評価できる。			[支出での効果額の積算根拠]						
				R6	直近2年平均	比較				
				支出(B-A)	25,291,000	25,647,000	356,000			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の使用許可等に関する業務 施設の使用に係る使用料金の徴収に関する業務 施設の維持管理に関する業務 	○		3
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ヒロノ福祉パーク祭 福祉関係団体の活動支援 	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	火災警報器の更新や利用者の利便性の確保に努めた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	(財)東北電気保安協会岩手県事業本部に委託し、月次点検(需要施設2ヵ月1回)、年次点検、臨時点検を実施した。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	江刺衛生会に委託し、日常清掃、全館清掃(週1回)、定期清掃(月1回)、特別清掃(年2回)を実施した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節水・節電を積極的に行い、経費の節減に努めた。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	施設所有管理者賠償責任保険(あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)に加入し、補償体制をとった。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	江刺衛生会へ委託し年4回の作業実施するとともに、定期的に利用団体へ呼びかけて草取りボランティアを実施した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例に従い、利用者に対し使用許可・減免等を適切に行った。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	ホームページや広報誌に掲載し、利用周知を図った。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	速やかな受付及び貸出に努めた。条例に定めのない物品は本会の物品を無料で貸し出しするなどし、利用者の利便性向上に努めた。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	本会の苦情解決規定により、苦情受付体制を整えた。即時対応が可能な件についてはその場で対応を図った。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	ヒロノ福祉パークまつりを開催した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	市への定期報告(月1回)を行った。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	市個人情報保護条例、奥州市社会福祉協議会個人情報保護規定に基づき対応した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	岩手信号防災㈱に委託し、機器点検(年1回)、総合点検(年1回)を実施した。	○	
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	ALSOK岩手㈱へ委託し、外部からの侵入を漏れなく監視し得るよう機器を設置した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	対応マニュアルを作成し、体制を確保した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを作成し、体制を確保した。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	消防計画に従い、年2回避難及び消火訓練を実施した。	○	

令和6年度江刺総合コミュニティセンターの指定管理に係る収支決算書

単位：円

		公の施設分	自主事業分	計		
収 入	市からの指定管理料		31,999,000	31,999,000		
	利用料金		780,820	780,820		
	指定管理者自主事業収入			0		
	雑収入		81,961	81,961		
合計		32,861,781	0	32,861,781		
支 出	大項目	中項目	小項目			
	人件費			7,129,751	0	7,129,751
		給与		7,129,751	0	7,129,751
			給料手当	7,129,751		7,129,751
			社会保険料等			0
						0
		賃金		0	0	0
			臨時職員賃金			0
			社会保険料等			0
						0
	一般管理費			24,159,550	0	24,159,550
		需用費		15,682,141	0	15,682,141
			消耗品費	128,301		128,301
			燃料費	768,467		768,467
			印刷製本費			0
			光熱水費	14,443,173		14,443,173
			修繕費	314,600		314,600
			教養費	27,600		27,600
						0
		役務費		80,991	0	80,991
			通信運搬費	2,997		2,997
			手数料	13,394		13,394
			保険料	64,600		64,600
						0
		委託料		7,405,453	0	7,405,453
			業務委託料	6,697,493		6,697,493
			保守料	707,960		707,960
						0
						0
						0
						0
		使用料及び賃借料		0	0	0
			賃借料			0
					0	
					0	
					0	
					0	
	租税公課		969,200	0	969,200	
		消費税	966,000		966,000	
		印紙税	3,200		3,200	
					0	
	その他諸費		21,765	0	21,765	
		雑費	21,765		21,765	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
	合計		31,289,301	0	31,289,301	

令和6年度江刺総合コミュニティセンター管理運営業務報告書

「うるおいとやすらぎを育む“ふれあいの郷づくり”」の実践を基本理念としたヒロノ福祉パークの中核施設として「高齢者から若者・幼児・障がい者まで、すべての人々が憩い、ふれあう場として、広く使用される施設」を基本方針として管理運営をし、多くの市民や団体の利用を通して、福祉の啓発を図った。

また、高齢者等福祉団体の活動や運営を側面から支援した。

1 施設の機能

市民が親しみやすい施設環境を整備し、施設内は勿論のこと外回りの環境美化にも留意し、使用目的に沿った施設の機能充実に努めてきた。

「コミュニティゾーン」は、福祉活動をはじめ市民が気軽に利用できる交流施設であり、「会議室」「視聴覚室」「ホール」「和室」「ボランティア室」の多機能的な各部屋において、会議や研修、サークル・同好会活動、市民交流、子育て支援活動などの利用の場を提供してきた。

「リハビリゾーン」は、障害をもった人が通所によって福祉サービスを利用できるように施設環境と施設機能の充実に努め、その利用促進を図ってきた。

○生活介護事業所わかくさ

○知的障害者授産施設（通所）ワークセンターわかくさ

○えさしふれあい工房（障害福祉サービス事業就労継続支援B型）

以上の3施設は、「社会福祉法人江刺寿生会」により運営されている。

2 施設利用状況（令和7年3月31日現在）

区分	利用日数（日）	利用回数（回）	利用人員（人）
ホール	189	252	4,988
市民ギャラリー	0	0	0
会議室	115	140	2,049
視聴覚室	165	191	2,070
ふれあい広場	0	0	0
和室	75	83	701
録音室	32	32	100
ボランティア室	71	77	672
視察	0	0	0
合計	647	775	10,580

3 施設別利用者年次別実績 (令和7年3月31日現在)

区分		H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
利用実績	日数	1,046	1,156	1,250	1,307	1,379	1,486	1,965	1,421	1,369
	回数	1,185	1,415	1,613	1,712	1,785	1,894	1,965	1,793	1,746
	人数	30,123	34,426	37,259	39,884	43,819	49,480	50,844	44,030	37,142
視察実績	日数	184	84	69	50	38	39	17	14	19
	回数	214	112	84	61	47	41	17	14	19
	人数	3,399	1,831	1,768	1,299	755	991	379	501	449
合計	日数	1,230	1,240	1,319	1,357	1,417	1,525	1,982	1,435	1,388
	回数	1,399	1,527	1,697	1,773	1,832	1,935	1,982	1,807	1,765
	人数	33,522	36,257	39,027	41,183	44,574	50,471	51,223	44,531	37,591

区分		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
利用実績	日数	1,344	1,332	1,369	1,366	1,442	1,430	1,686	1,625	1,536
	回数	1,719	1,694	1,768	1,872	1,889	1,903	2,226	2,171	2,008
	人数	33,355	47,817	36,158	38,120	29,508	35,775	40,342	39,824	34,950
視察実績	日数	16	10	15	7	3	3	0	0	0
	回数	16	10	15	7	3	3	0	0	0
	人数	422	119	246	112	64	30	0	0	0
合計	日数	1,360	1,342	1,384	1,373	1,445	1,433	1,686	1,625	1,536
	回数	1,735	1,704	1,783	1,879	1,892	1,906	2,226	2,171	2,008
	人数	33,777	47,936	36,404	38,232	29,572	35,805	40,342	39,824	34,950

区分		H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
利用実績	日数	1,623	1,532	1,539	1,172	1,218	1,049	1,068	1,118	1,118
	回数	2,170	2,018	2,036	1,586	1,699	1,295	1,281	1,340	1,279
	人数	40,789	40,911	33,138	30,021	28,266	15,477	13,368	14,572	15,339
視察実績	日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	日数	1,623	1,532	1,539	1,172	1,218	1,049	1,068	1,118	1,118
	回数	2,170	2,018	2,036	1,586	1,699	1,295	1,281	1,340	1,279
	人数	40,789	40,911	33,138	30,021	28,266	15,477	13,368	14,572	15,339

区分		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	累計
利用実績	日数	647								25,214
	回数	775								32,729
	人数	10,580								578,310
視察実績	日数	0								54
	回数	0								54
	人数	0								993
合計	日数	647	0	0	0	0	0	0	0	25,268
	回数	775	0	0	0	0	0	0	0	32,783
	人数	10,580	0	0	0	0	0	0	0	579,303

4 施設の修繕

本会が直接実施した修繕は、事務所内スイッチの設定。事務所内蛍光灯LEDへ変更。(一部)

指定管理業務外の修繕としては、屋根の修繕。

今後改善が必要なところについては、ホールの上部ロールスクリーン開閉修繕、トイレ水道修繕が必要と思われる。

また、ギャラリーの床暖房が故障し使用できないため、冬季間は館内全体が非常に寒く利用者からも苦情の声があがっている。夏場においても建物の構造上、熱が籠りきってしまい、特にここ数年の酷暑にもよってギャラリーが熱中症の危険性を伴うほどの暑さになっており、何かしら対策が必要と思われる。

ささらホール閉館に伴い、冷房設備のないホール及びギャラリー、ホール上部のロールスクリーンについては、早急な対応が求められる。

本施設は平成9年4月の開所以来25年が経過し、老朽化や耐用年数経過に伴う修理・修繕及び整備の必要な箇所が増加しており、今後も増加することが見込まれる。

市民が安心して快適に利用できる施設を目指し、奥州市と協議しながら優先順位を定めて順次修繕を進めていくこととしたい。

5 収支決算

(収入の部)

(単位：円)

区 分	実 績	備 考
奥州市指定管理料	31,999,000	指定管理料
利用料収入	780,820	コミセン利用料
雑収入	81,961	自動販売機手数料収入及び電気代
計	32,861,781	

(支出の部)

(単位：円)

区 分	実 績	備 考
事務局経費	7,129,751	給与、法定福利費、福利厚生費、共済掛金
事務費	13,394	振込手数料、防火管理者研修
消耗器具備品	128,301	トイレトペーパー、石油ストーブ代ほか
印刷製本費	0	
水道光熱費	14,443,173	電気、水道代
燃料費	768,467	灯油代
諸謝金		
修繕費	314,600	誘導灯交換、伐採工事等
通信運搬費	2,997	電話代、郵券代ほか
業務委託費	6,697,493	清掃・当直日直・警備・廃棄物処理・衛生害虫駆除・除草業務委託料
保守料	707,960	消防用設備点検料、自家用電気工作物保守料、コピーカウント料ほか
損害保険料	64,600	施設賠償保険料、車輛任意保険料
賃借料	0	車両借上料
租税公課	3,200	印紙税
教養娯楽費	27,600	新聞代ほか
消費税	966,000	
雑費	21,765	NHK受信料ほか
繰入金支出	1,572,480	法人運営費に繰入れ
計	32,861,781	

0

令和6年度指定管理者評価調書

施設所管課	長寿社会課	評価者職氏名	課長 菊地 美喜	評価日	令和7年7月17日
-------	-------	--------	----------	-----	-----------

施設名称	水沢高齢者創作館	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	奥州市老人クラブ連合会	公募・非公募の別	公募
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	高齢者の生きがいと創造意欲の高揚	指定管理料の有無	有
施設概要	木工部、陶芸部、手芸部、園芸部、わら細工部	指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	R3利用実績(人)	R4利用実績(人)	R5利用実績(人)	R6利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	水沢高齢者創作館	2,465	3,002	2,972	3,042	102.4	
(計)	2,465	3,002	2,972	3,042	102.4		
[利用者の増減理由] 積極的にさまざまなイベントに参加し、出品や販売を行うことにより創作活動への意欲向上につながった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R6年度指定管理者収支			市の歳入・歳出					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R6年度決算額		直近2年平均(R4~5)		
収入	指定管理料	2,658,700		2,658,700	使用料		使用料	0	
	利用料金			0	賃貸料		賃貸料	0	
	自主事業			0	その他		その他	0	
	雑収入	66		66					
	計	2,658,766	0	2,658,766	計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	956,382		956,382	指定管理料	2,658,700	指定管理料	2,760,850
		需用費	564,923		564,923	委託料		委託料	0
		役務費	64,471		64,471	需用費		需用費	0
		委託料	8,000		8,000	その他		その他	0
		使用料・賃借料	300,000		300,000	計(B)	2,658,700	計(B)	2,760,850
		租税公課	0		0	支出(B-A)	2,658,700	支出(B-A)	2,760,850
		その他諸費	764,990		764,990	維持修繕費		維持修繕費	0
		計	2,658,766	0	2,658,766	備品購入費		備品購入費	0
損益	0	0	0	計(C)	0	計(C)	0		
				全体支出(B+C-A)	2,658,700	全体支出(B+C-A)	2,760,850		

職員配置	常勤職員	人	直近2年の平均常勤職員	0人
	非常勤職員	1人	直近2年の平均非常勤職員	1人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額	0
------------------	---------	-------	------	---

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	36.0%	R6年度指定管理者損益	0円	評価
-----------	--------------------	-------	-------------	----	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	874.0円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	--------	------------------	----	---

指定管理とした効果	[指定管理による行革効果]	[支出での効果額]	102,150円		評価
	指定管理者制度を導入したことで、人件費削減による経費面で効果が生じている。また、相互交流や作品作りにより、高齢者の生きがい創設が図られている。	[支出での効果額の積算根拠]	R6	直近2年平均	
		支出(B-A)	2,658,700	2,760,850	102,150

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	高齢者の生きがいと健康づくり事業の実施	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	施設全体が老朽化しているため、早めの修繕を行い、経費削減に努めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者（電気・ガス等）による定期点検を行っている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	清掃分担に従い、部員が自主的に責任感を持ち清掃がなされている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	水回り関係の経年劣化による漏水について、各部に周知を図り、注意して使用している。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	保険に加入しているため、安心して対処することができる。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	施設の周囲の雑草などの駆除を各部で行い、整備に努めている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	水沢高齢者創作館条例に則り、適切に対応している。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	市老人クラブ連合会の会報や社会福祉協議会の福祉だより等を活用して創作館の宣伝に努めている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	パンフレットの作成やイベントへの参加により、利用促進に努めている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	会員との交流を図り、会員の意思を尊重しながら、対応している。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	イベント等に参加することにより活動の周知やわずかではあるが新規加入増につながった。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	日誌、月毎活動報告書の記載によって定期報告を行っている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の適切な保護に努めている。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	定期点検（電気・ガス等）が実施されている。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	創作館の決まりを遵守し、事故防止に取り組む。使用の講習（業者に依頼）を実施して安全確保に努めている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	連絡網を作成し、関係機関への連絡、対応が適切に行われるように努めている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、避難について確認する。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	10月に避難訓練を実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	1. 会員経過年数 2. 活動の成就感 3. 施設への要望 4. 改善点	
	調査結果	1. 会員の経過年数は平均8.6年 2. 興味あることを安価でできること。物を生産できること、自分の能力を知る。 3. 自分のペースで活動していると無心になれる。 4. 談笑していると、気分転換になる。		
	良好とする評価	1. 多くの会員は施設を生きがいづくりの場として活用されている。しかし、より発表する機会があればという要望もでている。 2. 新型コロナウイルスの感染拡大が、作品発表等の機会にどの程度影響があるか懸念している。		
	要望・苦情等	苦情・改善要望等	1. 木工部の部員が増えて、その分の機械稼働率が高くなり、修繕費が多くなることが懸念される。 2. 熱中症対策の一環として、適時対応してきたが、施設の老朽化と利用者の高齢化で応急処置での対応だけでは防止できずにいる。	

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	3
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	2	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	様々な部や活動、イベントを行うことにより、高齢者の生きがいや創作意欲の高揚となっている。また、アンケートを実施したりと、利用者の意見や要望を取り入れながら運営にあたっている。各部にも施設利用の注意点を周知しており、指定管理者として適切な事業管理ができています。	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	施設の老朽化による漏水、破損等に各部員とともに留意して活動するとともに、熱中症対策をどの部でも行っていく。	漏水に関しては、修理を行った。熱中症対策として扇風機を購入し、電源が確保できない場所でも使用できるよう、ポータブル電源を購入した。	施設の老朽化による漏水、破損等に各部員とともに留意して活動するとともに、新型コロナウイルスによる感染防止を最重要問題として、各部員とも意識した行動を遵守する。

令和6年度水沢高齢者創作館の指定管理に係る収支決算書

単位：円

			公の施設分	自主事業分	計	
収 入	市からの指定管理料		2,658,700		2,658,700	
	利用料金				0	
	指定管理者自主事業収入				0	
	雑収入		66		66	
合計			2,658,766	0	2,658,766	
支 出	大項目	中項目	小項目			
	人件費			956,382	0	956,382
		給与		0	0	0
			給料手当			0
			社会保険料等			0
						0
		賃金		956,382	0	956,382
			臨時職員賃金	956,382		956,382
			社会保険料等			0
						0
	一般管理費			1,702,384	0	1,702,384
		需用費		564,923	0	564,923
			消耗品費	19,918		19,918
			燃料費	70,858		70,858
			印刷製本費	49,631		49,631
			光熱水費	175,656		175,656
			修繕費	87,860		87,860
			原材料費	161,000		161,000
						0
		役務費		64,471	0	64,471
			通信運搬費	26,881		26,881
			手数料	500		500
			保険料	37,090		37,090
						0
		委託料		8,000	0	8,000
			清掃業務委託料			0
			警備委託料			0
			防火点検委託料	8,000		8,000
						0
						0
						0
		使用料及び賃借料		300,000	0	300,000
		使用料	300,000		300,000	
					0	
					0	
					0	
					0	
	租税公課		0	0	0	
					0	
					0	
					0	
	その他諸費		764,990	0	764,990	
		旅費	2,000		2,000	
		報償費	685,800		685,800	
		備品費	39,578		39,578	
		食糧費	22,967		22,967	
		研修費	14,645		14,645	
					0	
合計			2,658,766	0	2,658,766	

指定管理者事業報告書

令和7年3月31日

奥州市長 倉 成 淳 様

所在地 奥州市水沢南町5番12号
団体名 奥州市老人クラブ連合会

代表者氏名 会長 佐々木 幸 初



水沢高齢者創作館における指定管理者の指定手続き等に関する協定書第21条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 公の施設の名称
水沢高齢者創作館
- 2 管理の年度
令和6年度
- 3 管理の期間
令和6年4月1日～令和7年3月31日
- 4 管理業務の実施及び利用の状況
 - (1) 職員体制
正規職員 0名
非正規職員 1名
 - ・勤務シフト 午前9時30分～午後3時30分まで
 - ・主な所管事務 運営、施設管理、危機管理対応、個人情報保護、業務管理及び管理運営のための体制の整備に係る事務
 - (2) 運営に関すること
使用の許可
利用登録
利用等に関する窓口相談
運営委員会の設置等
 - (3) 施設の管理に関すること
維持管理及び修繕
整備及び清掃並びに植栽等
電気・冷暖房設備の操作、保守点検及び管理
環境衛生管理
消防署の防火管理関係の点検
 - (4) 危機管理対応に関すること
 - (5) 個人情報保護に関すること
 - (6) 業務報告に関すること
 - (7) 管理運営のための体制の整備に関すること
 - (8) 主な事業・イベント
 - ・南祭りへの参加
 - ・第38回中尊寺菊まつり
10月20日(水)～11月15日(月)
12人参加 創作館における園芸部が栽培している菊を中尊寺の本堂の園庭に飾り、一般の方々に菊の美しさとともに、芸術作品として素晴らしさを堪能させる機会として
いる。

- ・第12回 駒形神社菊花展10月26日(木)～11月16日(木)
12人参加
駒形神社の境内に栽培していた菊を飾り、その美しさ、芸術的な価値を与える機会としている。園芸部として最も力を入れている事業でもある。
- ・第46回水沢老連高齢者趣味創作展
令和7年3月8日(土)、9(日)の2日間で趣味創作展及び演芸大会をコロナ・インフルエンザ感染対策を行いながら開催しました。全体として延べ人数が300人以上の来場があり、創作館の方々も満足していたように思われました。

(9) 利用状況
別紙のとおり

5 使用料又は利用にかかる料金の収入実績
なし

6 管理に係わる経費の収支状況
別紙のとおり

7 その他
(1) 自主事業の状況
なし

(2) 利用者アンケート実施状況・苦情等の状況
利用者評価

利用アンケート	実施の有無	有
	調査内容	1 会員経過年数 2 活動の成就感 3 施設への要望 4 改善点
	調査結果	1 会員の経過年数は平均8.6年 2 多くの会員が「充実した気持ちで作品作りに専念している」 「会員同士の会話が楽しい」も多く結果として概ね良好と把握している。
要望・苦情	良好とする評価	1 多くの会員は入会年数が長く施設を生きがいの場として活用している。 2 本年度も趣味創作展・演芸大会が開催され、会員の方々も大いに満足していました。 3 会員はより豊かな作品づくりに励んでおります。
	苦情・改善・要望等	1 駐車場の窪地が大きくなってきており、創作館の会員のみならず、日曜日南地区のリサイクル場として多くの市民や大型トラックの出入りで運転に支障がでる状態で、事故やタイヤの破損が懸念されます。

(3) 広報活動の実施状況

令和6年度も、水沢老連だよりや市老連だよりを利用したり、創作展の開催により奥州市民全体に広く活動の周知を図ったところ、若干ではあるが部員として加入がなされた。

令和6年度

水沢高齢者創作館事業実施報告書

① 事業の概要

水沢高齢者創作館事業は、地域住民に対する高齢者福祉サービス効果を向上させ、地域福祉の一層の増進を図ることをねらい、主に水沢高齢者創作館の運営を中心として高齢者の知識と経験を生かしつつ趣味創作活動の支援・推進に当たり、高齢者の生きがい・健康づくりに努めてきた。

今年度は水沢高齢者創作館の各部は、9月20日(金)に一関市の震災遺構でもある祭時大橋の崩落場面の直近まで行き地震の大きさを実感するとともに骨寺村荘園センターにおいては、中世の平泉荘園跡地の光景から実際の荘園の様子を学ぶことができました。

また、奥州市社会福祉協議会主催のボランティア交流inみずさわ(名称変更)が9月28日開催され、3つの部が出品・販売しました。

さらに水沢南地区センターの南祭りへの出展では、各部とも作品の多くを展示販売することができました。

一方、園芸部は平泉中尊寺の菊祭りと駒形神社の菊花展(11月)等の各種イベントに積極的に出品し多くの賞を受賞するとともに、本年度も各部とも創意工夫された作品作りに精魂を傾けて取り組む様子が随所に見られました。

このような現状において、3月上旬の水沢老連高齢者趣味創作展・演芸大会は、ともに開催し大いに盛り上がりを見せていました。創作展につきましては各部の力作の展示により、創作活動への意欲の向上が部長を中心として図られていることを実感させられました。

今後感染症や熱中症及び活動中の事故に十分注意しながら、活動に取り組むとともに、会員が増え、充実した活動が展開される創作館になるように会員一同協力していく所存です。

② 高齢者創作館会員動向の推移

部 名	令和7年3月 末現在 会員数	平成6年3 月末現在会 員数	増 減	部 名	令和7年3月 末現在 会員数	令和6年3 月末現在 会員数	増 減
園芸部	10名	11名	-1	手芸部	9名	10名	-1
陶芸部	9名	9名	0	面友会	8名	9名	-1
木工部	10名	12名	-2	唄と踊りの会	7名	10名	-3
わら細工部	6名	6名	0	合計	61名	69名	-8

全体として昨年度から部員の減少が見られるので、部員の確保が課題となっている。しかし部員相互の繋がりは強く、親睦の深さを感じるとともに、どの会員も創意工夫しながら、充実さを感じさせる作品作りに取り組んでおります。今後各部において加入促進を目指し、安全意識を高め活発な活動を図りながら、施設の維持管理・環境整備の改善に努めて行く所存です。

③ 高齢者創作館事業実績

令和7年3月末日現在

事業種別	利用施設及び所在地	活動開始時期	活動日	延べ日数	活動延べ人員	事業実施状況
木工部	水沢大鐘町2-15 (旧水道事業所)H 21,12月より	令和6年4月 3日	水曜日 ・ 木曜日	91 (-1)	807 (-58)	※ 部長兼講師 阿部 靖 ※ 主作品 ・整理箱・長椅子等
陶芸部	水沢区大鐘町2-1 5(旧水道事業所) H21,12月より	令和6年 4月1日	月曜日 ～ 木曜日	116 (-3)	665 (-94)	※ 部長 郷家きぬ 講師 酒井成美 (静山園職員) ※ 主作品 ・花瓶・茶碗・オリジ ナル創作品
手芸部	水沢大鐘町2-15 (旧水道事業所) H21,12月より	令和6年 4月11日	第2 第4 木曜日	27 (+3)	205 (+17)	※ 部長兼講師 板屋ケイ子 ※ 主作品 ・パッチワーク・リフォ ーム・袋物・人形
園芸部	真城字中上野96 -3(水沢高等職 業訓練校校庭南 角から東角に移 転)H29.3月より	令和6年 4月5日	毎月 5・10 15 20・25 ・30 ※散水	117 (+14)	664 (+107)	※部長兼講師 村上吉郎 ※ 主作品 ・大輪菊づくり ・草花種苗等
わら 細工部	水沢大鐘町2-15 (旧水道事業所) H21,12月より	令和6年 4月2日	第1 第2 第3 火曜日	37 (+3)	189 (-11)	※部長兼講師 中畑絹子 ※ 主作品 ・布草履・雪わらぐつ ・フクロウ等
面友会	水沢大鐘町2-15 (旧水道事業所) R1,11月より	令和6年 4月4日	第1 第3 木曜日	26 (+2)	136 (+8)	会 長 武田 良司 木彫り面づくり等
唄と踊り の会	水沢大鐘町2-15 (旧水道事業所) R3,4月より	令和6年 4月3日	毎週 水曜日	44 (0)	376 (+71)	部長菊池澄江 講師小野寺禧美子 ※水老連の行事を中 心に演舞を披露
			合 計	458 (+18)	3,042 (+40)	

主たる参加イベント

※ 「第38回中尊寺菊まつり」(平泉)

10月20日(水)～ 11月15日(月)

※ 「第12回駒形神社菊花展」(水沢)

10月26日(木)～ 11月16日(木)

令和6年度指定管理者評価調書

施設所管課	江刺総合支所健康福祉グループ	評価者職氏名	山路友紀子	評価日	令和7年7月18日
-------	----------------	--------	-------	-----	-----------

施設名称	江刺高齢者生産活動センター	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	社会福祉法人奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	公募
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	高齢者の経験や技術を生かした就業機会の増大を図り、その生きがいを高めるため、高齢者の生活活動を総合的、機能的に推進し、山村地域の振興に資する。	指定管理料の有無	有
施設概要	ロビー（展示室）、竹加工室、木工室、食品加工室、陶器室、休憩室、事務室等	指定管理料の区分	利用料金のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	R3利用実績(人)	R4利用実績(人)	R5利用実績(人)	R6利用実績(人)	前年対比(%)	評価	
	江刺高齢者生産活動センター	1,188	1,325	1,477	1,700	115.1		4
(計)	1,188	1,325	1,477	1,700	115.1			
【利用者の増減理由】								
竹細工部の参加人数が増えたことにより、利用実績が増えた。								

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R6年度指定管理者収支			市の歳入・歳出						
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R6年度決算額		直近2年平均 (R4～5)			
収入	指定管理料	7,860,000		7,860,000	歳入	使用料		使用料	0	
	利用料金			0		賃貸料		賃貸料	0	
	自主事業			0		その他	33,882	その他	15,301	
	雑収入	33,882		33,882		計(A)	33,882	計(A)	15,301	
	計	7,893,882	0	7,893,882						
	支出	人件費	5,387,772		5,387,772	※経常的 歳出	指定管理料	7,860,000		6,814,000
		需用費	962,896		962,896		委託料		委託料	54,000
		役務費	284,857		284,857		需用費		需用費	0
		委託料	579,920		579,920		その他		その他	0
		使用料・賃借料	202,119		202,119		計(B)	7,860,000	計(B)	6,868,000
租税公課		471,318		471,318	支出(B-A)	7,826,118	支出(B-A)	6,852,699		
その他諸費		5,000		5,000	※臨時的 歳出	維持修繕費	290,900	維持修繕費	307,450	
						備品購入費	113,800	備品購入費	0	
計		7,893,882	0	7,893,882		計(C)	404,700	計(C)	307,450	
損益		0	0	0		全体支出(B+C-A)	8,230,818	全体支出(B+C-A)	7,160,149	
職員配置	常勤職員	0人		直近2年の平均常勤職員		0人				
	非常勤職員	3人		直近2年の平均非常勤職員		3人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額		0					
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		68.3%		R6年度 指定管理者損益	0円		評価		
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数		4,623.5円		事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3		
指定管理とした 効果	〔指定管理による行革効果〕			〔支出での効果額〕				△ 973,419円	評価	
	本制度の導入により、円滑に事業運営及び施設管理が図られた。 令和5年度より新たな指定期間に入ったが、給与・賃金の改善による人件費増及び物価・光熱費の高騰による需用費増により、指定管理料はそれより増嵩している。			〔支出での効果額の積算根拠〕				3		
				R6	直近2年平均	比較				
	支出(B-A)	7,826,118	6,852,699	△ 973,419						

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用の許可に関する業務 施設及び設備の維持管理に関する業務 仕様書に定める業務	○		3
自主事業	研修視察の実施 陶芸教室 文化祭等の作品展示	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	漏水箇所の特定を行い修繕につなげた。小修繕はスタッフがを行い、経費削減に勤めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	定期点検は実施せず、異常がある際に業者へ依頼している。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	活動日に業者委託により実施。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	漏水箇所の修繕により水道使用量が減となった。省エネに努め、適正な使用と認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	利用者及び職員のケガや事故のため施設賠償保険に加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	職員により定期的に行われている。	○	
	② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	公平性は確保されている。	
広報やHPなどPR活動の実施		定期的・効果的な広報宣伝	「市広報」や「社協HP」等においてPRを実施している。	○	
利用申込み等の受付体制の確保		利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブル等もなく問い合わせへも適正に対応している。	○	
利用者からの苦情に対する対応		苦情等への適切な対応	マニュアルにて対応することとしているが、苦情は出ていない。	○	
利用者増加策の実施		イベントの企画や自主事業の実施	老人クラブを中心に体験学習を開催することにより、その後の利用に繋げている。	○	
施設利用状況の定期報告		利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	奥州市社会福祉協議会個人情報保護規定に基づき適正に実施している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検を実施。消防計画を策定し、火災予防に取り組んでいる。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	職員による施設管理をしている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	マニュアルを策定し、事故発生時の対応に備えている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	マニュアルを策定し、災害発生時の対応に備えている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	消防計画に基づき実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価
		調査内容	実施はしていないが、申し出や要望等について随時受けられる体制をとっている。	
		調査結果		
	良好とする評価	マニュアルにて対応することとしているが、苦情は出ていない。		
	要望・苦情等	苦情・改善要望等		

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	4	3
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	1	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が年々増加しており、イベントや広報活動が功を奏していると評価できる。 ・小規模な施設修繕は、スタッフの作業により行うなど、経費の削減に努めている。 ・施設の特性を生かした自主事業の取り組みは、「高齢者の生活活動を総合的、機能的に推進し、山村地域の振興に資する」という施設の目的に貢献している。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	特になし		特になし

令和6年度江刺高齢者生産活動センターの指定管理に係る収支決算書

単位：円

		公の施設分	自主事業分	計	
収 入	市からの指定管理料		7,860,000	7,860,000	
	利用料金			0	
	指定管理者自主事業収入			0	
	雑収入		33,882	33,882	
合計		7,893,882	0	7,893,882	
支 出	大項目	中項目	小項目		
	人件費		5,387,772	0	5,387,772
		給与	4,582,597	0	4,582,597
			給料手当	4,582,597	4,582,597
			社会保険料等		0
					0
		賃金	805,175	0	805,175
			臨時職員賃金	805,175	805,175
			社会保険料等		0
					0
	一般管理費		2,506,110	0	2,506,110
		需用費	962,896	0	962,896
			消耗品費	158,703	158,703
			燃料費	229,302	229,302
			印刷製本費		0
			光熱水費	570,931	570,931
			修繕費	3,960	3,960
					0
					0
		役務費	284,857	0	284,857
			通信運搬費	117,317	117,317
			手数料	63,560	63,560
			保険料	103,980	103,980
					0
		委託料	579,920	0	579,920
			清掃業務委託料	579,920	579,920
			警備委託料		0
					0
					0
					0
		使用料及び賃借料	202,119	0	202,119
			賃借料	172,036	172,036
		機械保守料	30,083	30,083	
				0	
				0	
				0	
	租税公課	471,318	0	471,318	
		消費税等	471,318	471,318	
				0	
				0	
	その他諸費	5,000	0	5,000	
		県安全運転管理者部	5,000	5,000	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
合計		7,893,882	0	7,893,882	

奥社協総発第 450 号
令和 7 年 3 月 31 日

奥州市長 倉成 淳 様

奥州市水沢南町 5 番 12 号
社会福祉法人奥州市社会福祉協議会
会 長 田面木 茂 樹



令和 6 年度江刺高齢者生産活動センター管理運営事業報告書
令和 6 年 4 月 1 日付けで契約を締結した令和 6 年度江刺高齢者生産活動センター管理運営事業が完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 精算額 金 7,860,000 円
指定管理料 7,860,000 円

- 2 添付書類 令和 6 年度江刺高齢者生産活動センター管理運営事業報告書

社会福祉法人奥州市社会福祉協議会
総務財政課 担当 及川仁美
〒023-0851 奥州市水沢南町 5-12
Tel. 0197-25-6158 FAX 0197-25-6690



1-(1) 令和6年度江刺高齢者生産活動センター管理運営事業経過報告

① 活動報告

主たる活動として今年度も引き続き、環境整備を進めてきました。館内は前年を継続しながらロビー等内外のガラス清掃、館外は中庭・裏庭の草刈り草取り、植木等の剪定伐採作業と美化に努めました。

また、予て懸念事項の施設・設備の老朽化による案件が顕著でした。特に水道水の漏水問題が大きく、2か月半に及ぶ毎日3度の検針を実行し、市・業者から指導を得ながら原因個所を突き止め7月22日の改修工事となりました。以降は正常値で推移しています。

江刺電江社様の指導のもと、自動火災報知器受信機計画区域図を更新しました。

陶器部室外側のグリストラップの清掃を、業者に依頼し初めて行いました。

総じて、多くの未着手案件に取り掛かった1年でした。

年間を通じた温度管理のため各部室・ロビーに乾湿計を設置し、活動員等の体調管理の意識を高めることに有用なものとなりました。

参考として夏季最高気温は、30℃以上が55日、内33℃以上が18日、内35℃以上が4日を計測しました。幸いなことに体調不良を訴えた人はいませんでしたが、酷暑の翌日は活動者が激減しました。

トイレ改修については見通しが立っています。・送迎バスの自動ドア改修は、完了しました。

令和5年11月15日に実施した懇談会のその後については、今年度第1回運営委員会で進捗の確認をされましたが、令和6年12月25日に市との協議を経て、令和7年2月14日に社会福祉協議会千田常務から各部長に進捗状況の報告・説明を行いました。

伊手源休館の閉鎖により、各部の作品を販売する機会が減ります。新たな販路として商工会議所に問い合わせるなど数か所に当たってみました。販売スペース・方法・売り上げ金授受の方法など、うまくことが運ばない事情があり、まだまだ検討が必要です。

また、『活動センターまつり(仮)』などの独自の働きについては、今後各部会と協議を持つ意向です。

② 事業報告 活動は陶器、木工、竹細工、食品の4部門で実施。

1) 陶器部・・・活動日は毎月第1・第3週の月・火曜日。部員は23名。

昨年度から1名の増となりました。主な製作品は植木鉢、花びん、皿、茶碗、コーヒーカップ、その他の作品を制作し、夢プラザ、源休館の売店で常時販売しております(源休館は令和6年度をもって閉鎖)。また、蔵まち市、江刺産業まつり、伊手地区文化祭(展示のみ)は開催され、これまで通り作品を出展しました。7月24日と9月27日には、いでっ子くらの

陶芸教室を実施しました。

研修は当センターのマイクロバスを利用し、奥州市胆沢若柳字萱刈窪の工房と一関市巖美町字外谷地の香月窯(コウゲツカマ)の二か所を事務局等含め 18 名で視察して来ました。作品鑑賞とともに、時間の経過を忘れるほど熱心に作者からその創作過程等についてのお話を伺って来ました。

令和7年3月4日付の胆江日日新聞に、ひなまつり会食会の様子が掲載されました。

2) 木工部・・・活動日は毎週金曜日。部員は 9 名。

1 名減+1 名増で変わらず9名の在籍となりました。今年も塵取り、花台、玩具、ミニ箆笥、将棋盤等を製作しながら木工の基礎基本の修得に努めております。作品の展示販売については他の部と同様、夢プラザ、源休館等にお願ひし、蔵まち市、産業まつりにも出品しました。また、伊手振興会から注文を受け、伊手地区敬老会記念品として木製ティッシュ箱を納めました。

3) 竹細工部・・・活動日は毎月第 2・第4週の月・火曜日。部員は 25 名。

昨年度から9名の増となりました。

主な製作品はかご、筆立て、ざる、ふご、手さげカバン等で、夢プラザの売店で常時販売していただきました。陶器部と同様に、蔵まち市、江刺産業まつり、伊手地区文化祭(展示のみ)は開催され、これまで通り作品を出品しました。

11 月には活動員全員で材料となる竹を採集して来ました。篤竹(スズタケ)は近年減少し十分確保できなくなったため、採集を断念しました。

研修は当センターのマイクロバスを利用し、11 月 27 日に二戸郡一戸町の鳥越もみじ交遊舎、二戸郡一戸町のいちのへ手技工芸館を事務局含め 12 名で見学して来ました。

令和6年10 月1日付の胆江日日新聞に、『はつらつシニアライフ』として活動の様子が掲載されました。新規会員の入会につながりました。

4) 食品部・・・活動日は随時。部員は6名。

令和 6 年 6 月施行の食品衛生法の改正により、今年度から従来通りの製造販売が出来なくなりました。今年度は販売を前提としない食品加工を行う活動へと大きく転換し、随時集まり梅漬けの製造・販売を細々と行っています。

③ 運営委員会

第1回運営委員会 令和6年6月 12 日

第2回運営委員会 令和7年2月 19 日

(別紙)

1 管理の期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理業務の実施及び利用の状況

(1) 職員体制

非正規職員 3名	(勤務シフト)	(主な所掌事務)
佐藤 猛	平日 9:00～16:00	運営統括責任者
沼田和洋	平日 9:00～16:00	創作生産活動指導員
佐藤春行	月、火 8:00～10:00、15:00～17:00	利用者送迎、車両管理

(2) 施設の維持管理

保守・点検	浄化槽、貯水槽、	消防施設等の保守点検	業者委託
清掃業務	奥州市シルバー人材センター		
傷害保険の加入	施設賠償保険(社会福祉協議会の依頼業者)		
敷地環境整備	松造園(奥州市前沢字日向20-4)		
施設維持補修	奥州市及び社会福祉協議会にて協議		
その他			

(3) 危機管理対策

個人情報保護	奥州市社会福祉協議会個人情報保護規程
消防設備の管理・点検	江刺電工株式会社
施設の保安・警備	始業及び終業時において職員が確認
事故発生・災害緊急時の体制	江刺高齢者生産活動センター消防計画の通り
避難訓練の実施	年2回実施

(4) 第三者へ再委託した業務

再委託した業務	再委託した業者
消防設備点検業務	江刺電工株式会社
清掃業務	シルバー人材センター

(5) 主な事業・イベント

事業・イベント名	開催月日	参加者数	内容
蔵まち市	7月6日	4人	作品展示・販売
江刺産業まつり	10月19日、20日	8人	作品展示・販売
伊手地区文化祭	11月17日、18日		作品展示のみ

(6) 利用状況

活動日数 162日
利用者数 1,700人
(開館日数 243日)

3 管理に係る経費の収支状況

収支決算書のとおり

4 広報活動の実施状況

「広報おうしゅう」をはじめ、奥州市社会福祉協議会のホームページ等を活用。蔵まち市や産業まつりに出店した際にセンターの活動を紹介し、利用者の拡大を図っております。

不定期ですが、胆江日日新聞社に申し出て部会の活動等を紹介していただいております。

令和6年度指定管理者評価調査

施設所管課	前沢総合支所市民福祉グループ	評価者職氏名	グループ長 佐々木光男	評価日	令和7年7月18日
-------	----------------	--------	-------------	-----	-----------

施設名称	まえさわ介護センター	施設所在地	前沢地域
指定管理者名	社会福祉法人 つつじ会	公募・非公募の別	公募
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	居宅における介護を支援する。（通所介護事業・短期入所生活介護事業・居宅介護支援事業・障害福祉サービス事業）	指定管理料の有無	有
施設概要	デイサービスセンター、ヘルパーステーション、在宅介護支援センター、厨房、ショートステイ居室（30床）等	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	R3利用実績(人)	R4利用実績(人)	R5利用実績(人)	R6利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	通所介護事業		7,869	6,760	6,184	0	
短期入所生活介護事業		9,027	8,671	8,982	9,504	105.8	
	(計)	16,896	15,431	15,166	9,504	62.7	
	[利用者の増減理由]						
	看護師の退職に伴う人員不足により令和6年4月1日より通所介護事業を休止している。 短期入所については新規利用件数が伸びたことが増加した要因の一つと考えられる。						

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R6年度指定管理者収支				市の歳入・歳出					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R6年度決算額		直近2年平均 (R4~5)			
収入	指定管理料	6,423,400		6,423,400	歳入	使用料	0	使用料	0	
	利用料金	119,287,583		119,287,583		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0		0		その他	15,248,267	その他	16,321,007	
	雑収入	2,438,070		2,438,070		計(A)	15,248,267	計(A)	16,321,007	
	計	128,149,053	0	128,149,053						
	支出	人件費	92,702,049		92,702,049	※経常的 歳出	指定管理料	6,423,400	指定管理料	7,906,500
		需用費	35,612,453		35,612,453		委託料	2,848,322	委託料	2,645,982
		役務費	741,958		741,958		需用費	11,516,666	需用費	12,703,643
		委託料	11,839,150		11,839,150		その他	1,358,046	その他	1,333,236
		使用料・賃借料	3,428,359		3,428,359		計(B)	22,146,434	計(B)	24,589,361
租税公課		25,000		25,000	※臨時的 歳出	支出(B-A)	6,898,167	支出(B-A)	8,268,354	
その他諸費		16,970		16,970		維持修繕費	17,922,300	維持修繕費	6,250,646	
						備品購入費	0	備品購入費	0	
						計(C)	17,922,300	計(C)	6,250,646	
計		144,365,939	0	144,365,939		全体支出(B+C-A)	24,820,467	全体支出(B+C-A)	14,519,000	
損益	△ 16,216,886	0	△ 16,216,886							
職員配置	常勤職員	15 人			直近2年の平均常勤職員		26 人			
	非常勤職員	8 人			直近2年の平均非常勤職員		17 人			
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	119,287,583		119,287,583							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出			64.2 %	R6年度指定管理者損益	△ 16,216,886 円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数			675.9 円	事業目的に適合しない支出等の有無			なし		
指定管理とした効果	[指定管理による行革効果]				[支出での効果額]				1,370,187 円	評価
	数値上一定の行革効果は表れているものの、人材が確保出来ない等の経営上の理由により本来実施すべき通所介護事業を休止していることにより指定管理料が抑制されている側面もある。 築26年が経過した施設であることから、維持修繕費等の行政効果額に反映されない臨時的経費の増加が今後も見込まれる。				[支出での効果額の積算根拠]					3
						R6	直近2年平均	比較		
					支出(B-A)	6,898,167	8,268,354	1,370,187		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設を適正かつ円滑に管理すること。 指定管理者が有する能力を活用しつつ、地域住民等に対する福祉サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域の福祉の一層の増進を図ること。	△	指定管理受託法人の経営上の理由により通所介護事業を令和6年度より休止している状況にある。（事前に休止申し出があり、承認している経緯あり。）	1
自主事業	介護センターまつりの開催	×	新型コロナウイルス等の感染症防止、人員不足の為開催出来なかった。	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	保守・点検業務の委託により、適切に管理が行われていた。	○	3	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	保守・点検業務の委託により、適切に管理が行われていた。	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	法人職員で清掃業務を行っていた。浴室配管や厨房害虫駆除については業者へ委託していた。	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	蛍光灯の間引き、こまめな消灯、窓の開閉等節約に努めていた。	○		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	介護保険・社会福祉事業者総合保険への加入を確認した。	○		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	隣接する市の管理施設と合わせ共同管理を行った。植木の伐採、中庭の草刈りについては法人職員が行っていることを確認した。	○		
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	公平中立なケアマネジメントの確保に関する説明を行っている事を確認した。	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報誌を定期的に発行し、家族や関係機関へ配布している事を確認した。	○		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	各部門責任者を中心に適切な対応もあったが、人員不足により多忙で気持ちに余裕が持てず満足度のいくサービスを提供出来なかった職員がいた。	○		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	特に苦情等はなかったが、苦情等があった際は迅速な対応が行える体制を整備していることを確認した。	○		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	介護センターまつりは開催出来なかったことを確認した。	×		感染症防止のため
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○		
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	基本協定書第17条及び独自の基本規定等に基づき適切に実施されていた。	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	点検業務の委託により適切に管理が行われていた。	○		
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	休日や夜間についても日直当直により安全が確保されていた。	○		
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	初期対応や家族、関係機関への連絡が適切に行われていた。事業所内部で報告書を作成して全職員に回覧することにより、原因や対応策を情報共有して再発防止に努めていたことを確認した。	○		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	防災計画書及び緊急連絡網は整備されていることを確認した。	○		
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	隣接施設との合同訓練を実施したことを確認した。	○		

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	食事嗜好調査、職員対応状況調査	
		調査結果	主食、おかず、汁物、おやつについてそれぞれ量、固さ、温度、見た目等の項目についてアンケート調査を実施した結果、「ちょうどよい」という回答が大多数であった。職員対応についても「非常に良い」47%、「普通」53%で、「悪い」は0%だった。	
	要望・苦情等	良好とする評価	・給食について、大多数の利用者より適正と評価を受けている。	
		苦情・改善要望等	・おかずの味が薄い、おやつ量が少ない等。 ・「味付けごはん」「はっと」が食べたい等。	

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	2	<h1>2</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	2	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	1	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の指定管理者損益もマイナスであり、赤字経営が慢性化しつつあるが昨今の物価高騰や人件費の増大等経済環境の変化による影響が大きく、指定管理者がコントロールするには難しい、やむを得ない事情が含まれていることも考慮する必要がある。 ・しかしながら、必要な職員を確保できず通所介護事業の休止に至ったことについては、全国的な福祉人材不足が深刻な問題である現状を考慮しつつも大変遺憾なことであり、施設の設置目的に則った指定管理業務を適正に実施できる体制の構築を強く望む。 ・前年度未実施であった利用者アンケートの実施によりサービス向上に努めたことは評価できる。 ・施設は築26年が経過し、経年劣化に伴う修繕等の経費増加が懸念される。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	職員不足の解消（インターネットを活用した人材募集）。	メイン事業の一つである通所介護事業再開の目的が立たず、令和7年度も引き続き休止が続いている状況にある。	職員不足を解消し、通所介護事業の再開を目指す。

令和6年度まえさわ介護センターの指定管理に係る収支決算書

単位：円

			まえさわ介護センター事業 (短期・居宅・障害)	奥州市受託事業	計
収 入	市からの指定管理料		6,423,400		6,423,400
	利用料金		119,287,583		119,287,583
	指定管理者自主事業収入		0		0
	経常経費寄附金収入		30,000		30,000
	受取利息配当金収入		2,255		2,255
	受入研修費収入		0		0
	利用者等外給食費収入		24,002		24,002
	雑収入		263,325		263,325
	補助金事業収入		1,479,169		1,479,169
	固定資産売却収入		35,000		35,000
	退職給付引当資産取崩収入		582,319		582,319
	長期貸付金回収収入		22,000		22,000
	合計		128,149,053		128,149,053
支 出	大項目	中項目	小項目		
	人件費	給与	給与・手当等	92,702,049	92,702,049
				52,799,681	52,799,681
				52,799,681	52,799,681
		賃金		29,240,950	29,240,950
			臨時職員賃金	29,240,950	29,240,950
		法定福利費		10,661,418	10,661,418
			社会保険料等	10,661,418	10,661,418
					0
					0
		一般管理費		51,663,890	51,663,890
	需用費		35,612,453	35,612,453	
		給食費	9,340,464	9,340,464	
		介護用品費	701,942	701,942	
		保健衛生費	190,045	190,045	
		被服費	0	0	
		教養娯楽費	36,600	36,600	
		日用品費	199,322	199,322	
		水道光熱費	12,148,206	12,148,206	
		燃料費	5,609,156	5,609,156	
		消耗器具備品費	142,796	142,796	
		保険料	272,108	272,108	
		車輛費	607,184	607,184	
		雑支出(事業)	5,464	5,464	
		福利厚生費	651,434	651,434	
		職員被服費	250,000	250,000	
		旅費交通費	8,040	8,040	
		研修研究費	16,500	16,500	
		事務消耗品費	1,189,118	1,189,118	
		印刷製本費	138,206	138,206	
		修繕費	1,530,650	1,530,650	
		会議費	0	0	
		保守料	2,506,992	2,506,992	
		諸会費	16,500	16,500	
		雑支出(事務)	27,350	27,350	
		利用者等外給食費支出	24,376	24,376	
		固定資産取得支出	0	0	
		役務費		741,958	741,958
			通信運搬費	741,958	741,958
		委託料		11,839,150	11,839,150
			業務委託料	11,839,150	11,839,150
					0
					0
		使用料及び賃借料		3,428,359	3,428,359
	賃借料		3,428,359	3,428,359	
				0	
	租税公課		25,000	25,000	
自動車税		25,000	25,000		
			0		
その他諸費		16,970	16,970		
	手数料	16,970	16,970		
	長期貸付金	0	0		
合計		144,365,939	144,365,939		

※ 収入・支出の項目は例示であり、必要に応じて変更して差し支えないこと。
 ※ 評価調書の事業収支実績額と一致すること。

指定管理者事業報告書

令和7年4月30日

奥州市長 倉 成 淳 様

所在地 岩手県奥州市前沢字塔ヶ崎7番地
団体名 社会福祉法人つつじ会
代表者氏名 理事長 関 笙子



まえさわ介護センターにおける指定管理者の手続き等に関する協定書第21条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 公の施設の名称
まえさわ介護センター
- 2 管理の年度
令和6年度
- 3 管理の期間
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
- 4 管理業務の実施及び利用の状況
別紙の通り
- 5 使用料又は利用にかかる料金の収入実績
別紙の通り
- 6 管理に係る経費の収支状況
別紙の通り
- 7 その他



令和6年度事業報告書

社会福祉法人つつじ会

【指定管理】

ま え さ わ 介 護 セ ン タ ー

短期入所生活介護事業

居宅介護支援事業

障害福祉サービス事業

短期入所生活介護

1. 事業の概要

- (1) 人員不足、長期利用者増加の中でも、可能な範囲でレクや創作活動の提供に努めた。
- (2) 施設入所や入院等の理由によりキャンセルになることが多く、稼働率が安定しない月があったが、各事業所への積極的な空き状況の周知を行い利用へ繋げた。
- (3) 離床センサーとナースコールの使用、居室割りの工夫を行い、見守り強化と危険回避に努めた。
- (4) 他部門の業務応援により、前沢地域以外の送迎も可能な限り対応し、利用率向上に努めた。
- (5) コロナ感染者が出た事で12月末からは通常の受け入れが出来なかったが、1月中旬からは通常の受け入れまで戻すことが出来た。

2. ショートステイの概要

- (1) 居 室 個室29室 家族介護室1室
- (2) 定 員 30名
- (3) 職 員

令和7年3月31日現在

区 分	生活相談員	機能訓練指導員 准看護師兼	介護福祉士	介護士	計
人 員	1	2	10	5	18

(4) 職員勤務体制

職 種	勤 務 形 態	勤 務 時 間
生活相談員	日 勤	8：30～17：15
看 護 師	早 番	7：00～15：45
	日 勤	8：30～17：15
介護福祉士 介護士	早 番	7：00～15：45
	日 勤	8：15～17：00
	日 勤	8：30～17：15
	日 勤	9：00～17：45
	日 勤	9：30～18：15
	遅 番	10：00～18：45
	夜 勤	16：30～翌9：30

(5) 短期入所利用状況 (人)

区分	実人数			延人数			実人数 合計	延人数 合計
	介護予防	要介護	障がい	介護予防	要介護	障がい		
4月	8	65	3	57	729	11	76	797
5月	8	63	3	65	699	9	74	773
6月	7	66	3	54	688	12	76	754
7月	8	63	3	64	694	11	74	769
8月	9	71	3	71	740	14	83	825
9月	9	66	3	61	715	11	78	787
10月	9	71	3	68	750	11	83	829
11月	8	79	2	51	705	7	89	763
12月	9	79	3	64	757	11	91	832
1月	7	69	3	45	689	12	79	746
2月	8	73	2	51	710	8	83	769
3月	8	81	3	48	801	11	92	860
計	98	846	34	699	8,677	128	978	9,504

(6) 地域別利用者数 (人)

地域	前沢	衣川	水沢	胆沢	平泉	東山	一関
人数	113	28	14	5	3	0	1

3. 防災対策

月日	内 容	対 象	備 考
9.22	委託業者による消防用設備等点検	利用者・職員	法定点検
9.22	委託業者による防火対象物点検		法定点検
10.6	委託業者による消防用設備等点検		法定点検
11.22	三社合同避難訓練		

4. 職員研修の状況

オムツの当て方：12月部門会議内にて

前沢居宅介護支援事業所

1. 事業の概要

- (1) 令和6年度は主任介護支援専門員1名、介護支援専門員2名の計3名体制で業務を遂行した。介護給付管理数と予防給付管理数は年間で、893件（介護給付818件、予防給付75件）であった。
- (2) 介護支援専門員3名体制により特定事業所加算Ⅲを算定し（5月～1月）居宅サービス計画の作成業務を行った。介護支援専門員が2名の月と3名の月があり、加算を算定出来る月と出来ない月があった為、給付管理時は注意した。長期入所や死亡の理由で件数に変動もあった。希望による契約も含め、新規契約を獲得する事が出来た。相談件数は常にあり、サービスに繋ぐ事が出来た。
- (3) 介護給付数の多い順は要介護1、2、3、4、5と例年通りとなった。施設入所する方も居り、給付者数が少ない月もあった。
- (4) 介護給付管理数818件については、入院時や退院時は病院に足を運び各加算の取得や、通院時情報連携加算も取得に努めた。
- (5) 介護予防支援業務は、要支援1、要支援2の計画作成受託（総合事業含む）。年間75件の予防給付管理数となった。介護予防の利用者の介護予防計画作成の受託については、社会福祉法人優愛福祉会と契約を締結し、介護予防支援計画を作成、予防給付管理を行っているが、予防から介護に移行している現状となっている。
- (6) 令和6年度は高齢者世帯や独居世帯、認知症高齢者世帯への支援が益々増加した。介護度が高くなると在宅での介護の時間が長くなるため、施設入所を希望される御家族は多い。4月～3月までで10人、永眠された方は13名と多かった。ターミナルの方の支援も多かった。また、遠方にいるご家族様と連絡を取り合いながらの支援も行った。新型コロナウイルス感染症の為、その都度確認を行い支援した。介護支援専門員の異動等により受け持ち利用者様の調整を行いスムーズな介護サービス利用継続に繋げる事も出来た。ご本人様の思いやご家族様の希望を傾聴させて頂きながら、各サービス事業所と密な連携を図り、利用者様の意向に沿った希望通りの対応が実現できた。

2. 居宅介護支援事業所の概要

職員	主任介護支援専門員	1人
	介護支援専門員	1人（4月、2月～3月）
	介護支援専門員	2人（5月～1月）

3. 給付管理件数

区分	介護予防支援計画			居宅介護サービス計画					
	要支援		計	要介護					計
	1、2	総合		1	2	3	4	5	
4月	5	1	6	22	28	8	8	3	69
5月	6	0	6	24	28	7	7	2	68
6月	6	0	6	22	28	10	6	2	68
7月	6	0	6	22	28	9	6	2	67
8月	6	0	6	24	25	11	4	2	66
9月	6	1	7	25	23	12	4	2	66
10月	6	1	7	28	22	14	4	2	70
11月	6	1	7	29	22	13	4	2	70
12月	6	1	7	29	19	15	6	2	71
1月	7	1	8	30	19	12	4	3	68
2月	4	1	5	28	18	14	6	2	68
3月	3	1	4	28	18	14	5	2	67
計	67	8	75	311	278	139	64	26	818
年間給付管理件数 893 件									

4. 職員研修の状況

月日	内 容	場 所
6.14～7.8	主任介護支援専門員更新研修 eラーニング	奥州市
6.21	令和6年岩手県自家用車協会通常総会	奥州市
7.2	求職者向け介護職員初任者研修講師	奥州市
7.11～12	主任介護支援専門員更新研修	盛岡市
7.23	四半期末監査	奥州市
8.1～2	主任介護支援専門員更新研修	盛岡市
8.27	令和6年度自立支援型地域ケア会議聴講出席	奥州市
9.6	ケアマネ支援センター巡回相談研修	北上市
9.13	令和6年度感染症予防研修会	奥州市
9.19	地域連携懇話会	奥州市
10.15	令和6年度在宅医療人材育成研修会	奥州市
10.29	衣川歯科医との連携について	奥州市
11.6	令和6年度第2回奥州市多職種連携研修会	奥州市
11.8	令和6年度奥州金ヶ崎区権利擁護研修会	奥州市
12.11	令和6年度安全運転管理者講習会	奥州市
12.18	ケアマネ有志の会	奥州市
R7.2.21	安全運転管理者選任事業所「交通安全大会」	奥州市
3.18	ケアプラン点検	奥州市